

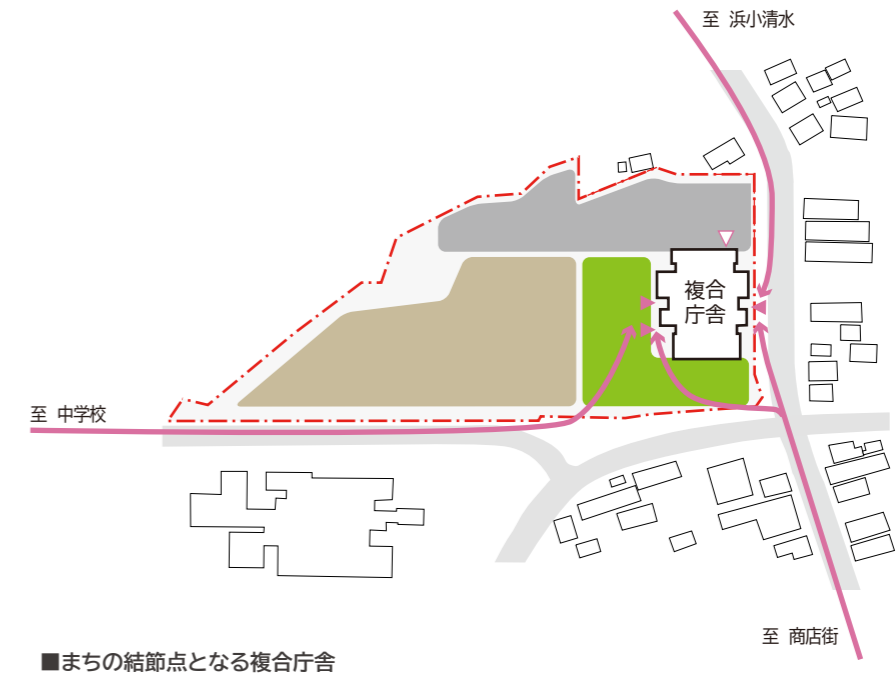
# 小清水町防災拠点型複合庁舎建設基本設計説明書

---

2020.12  
【概要版】

## 歩いてまわれるまちづくりの結節点

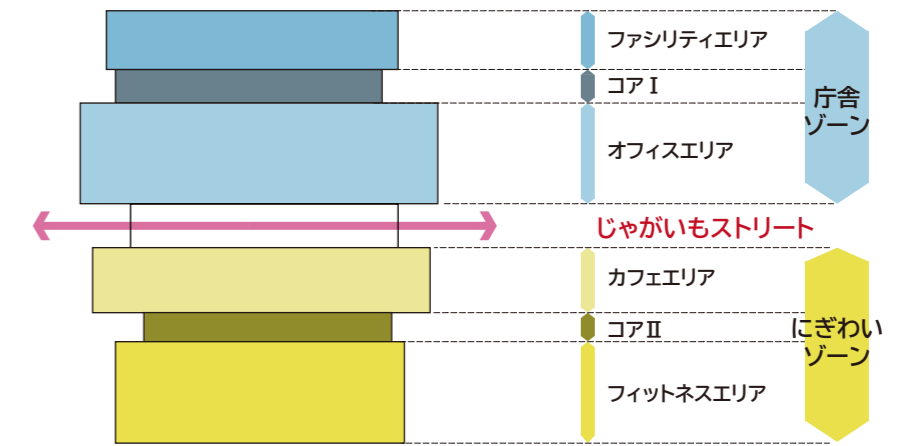
- ・まちの骨格軸である国道に沿った配置とし、町民のみなさんがにぎわうまちのシンボルとなる庁舎をつくります。
- ・四方に向かって開かれたウラのない構成とし、出入口を複数設けることでまちのどこからでもアプローチしやすい外観とします。
- ・災害時でも歩いて安全に立ち寄れる、歩行者にやさしい自然と調和したデザインとします。



■まちの結節点となる複合庁舎

## まちとつながるコンパクトな複合庁舎

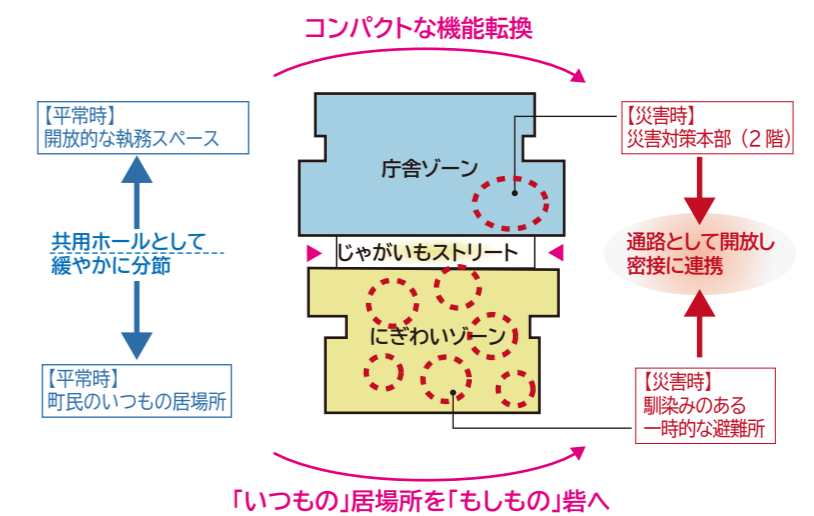
- ・町民のみなさんが自由に通り抜けできる、光溢れる開放的な「じゃがいもストリート」を設けます。
- ・建物を親しみやすい小さなボリュームに砕き、間口の狭い地割によって形作られた商店街のまちなみと調和したデザインとします。
- ・複合する機能を利用形態に応じて柔軟に運用することで、建物全体として環境負荷の小さな建築をつくります。



■7つの層からなる短冊状ゾーニング

## 町民が集まるいつもの居場所

- ・全ての町民が日常的に快適に過ごすことのできる、コミュニティの中心拠点をつくります。
- ・平常時でも災害時でも多様な使い方ができ、簡易に移動や交換が可能な間仕切りや家具什器を設えます。
- ・内装材には小清水町らしさを象徴する材料を選定し、町民のみなさんに長く愛される庁舎をつくります。



■フェーズフリーによる庁舎イメージ



□国道のにぎわいを生む配置

- ・既存公民館を含んだ敷地東側に配置し、商店街から続く国道沿いのまちなみに新たなにぎわいを創出します。
- ・既存のバス待合所や擁壁、屋外階段は新設し、国道から庁舎へ町民を引き込む新たなアプローチ空間として整備します。
- ・西側に来庁者駐車場、北側に職員駐車場を設け来庁者動線と管理動線を明確に分離します。

□まちの骨格を受け継ぐ建ち方

- ・河川に挟まれた国道を中心に形作られたまちの特性を読み解き、浸水区域を避けた合理的な配置とします。
- ・間口の狭い商店の外観が連続するようにボリュームを碎き、親しみやすい小さなスケールによるまちなみを継承します。

□6つのひろば／2つのガーデン

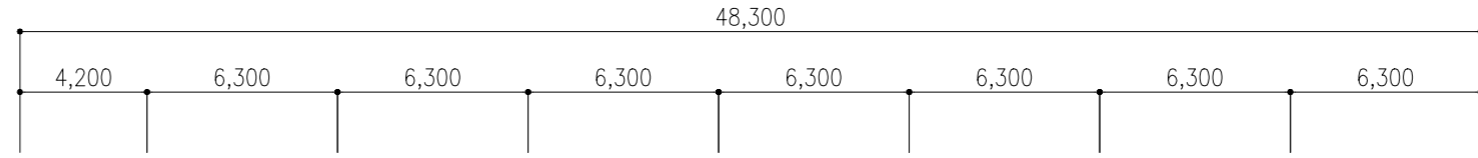
- ・「花と野鳥のまち 小清水」にふさわしい、オホーツクの植生を踏まえたグリーンインフラを敷地内に整備します。
- ・建物を取り囲むように「ひろば」と「ガーデン」を設えることで、外部に彩を与えるとともに、災害時には延焼防止や安全な避難経路となります。



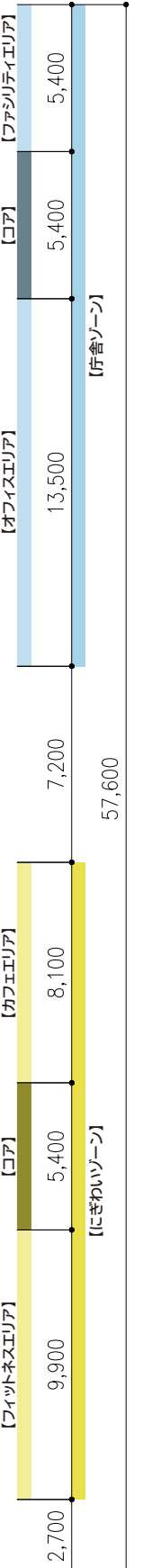
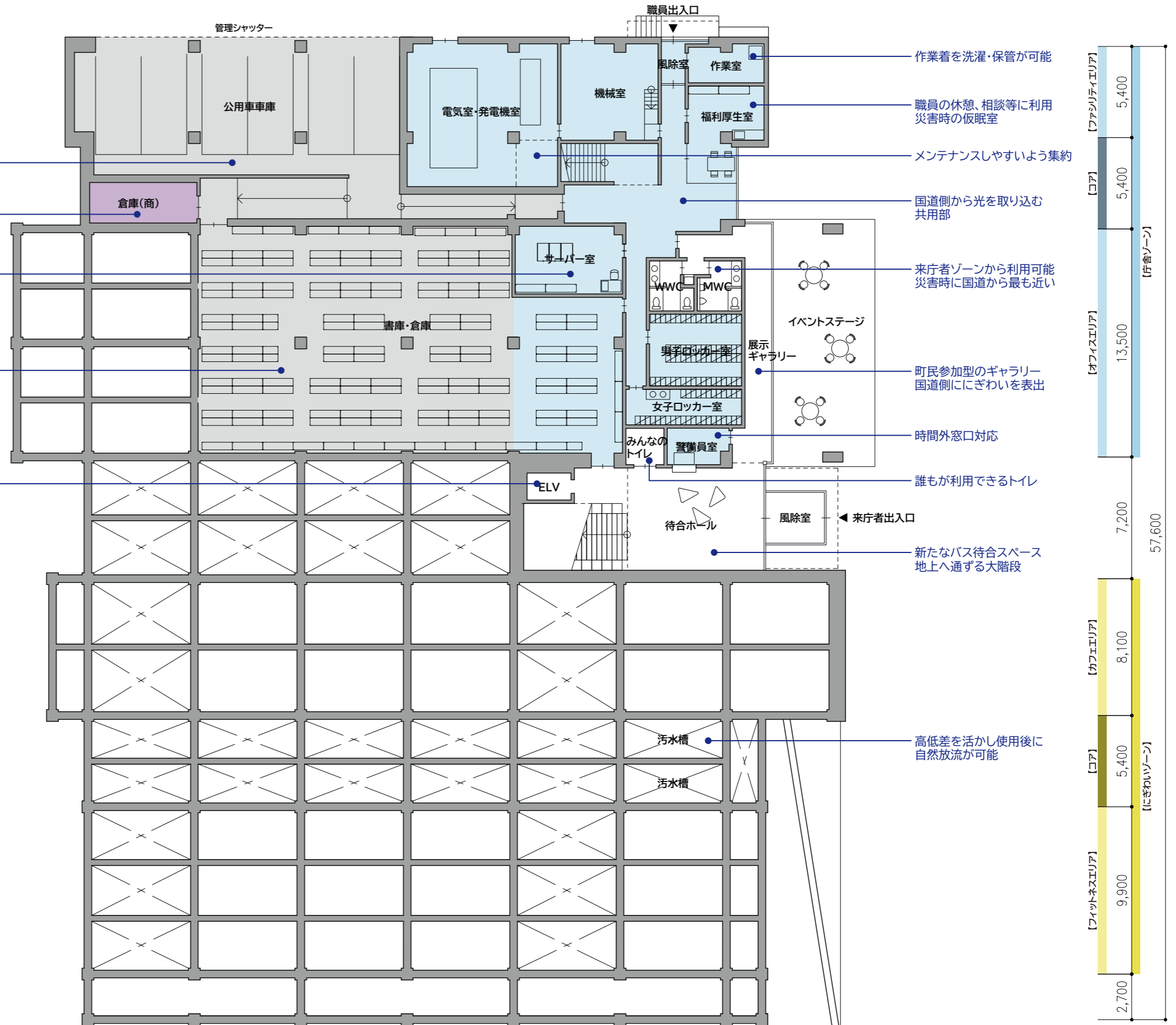
職員バックヤードを集約したB1F

- ・国道から直接アプローチできる来庁者用出入口を設けます。
- ・バス待合、展示ギャラリー、時間外窓口を設置し、1階へ通ずる大階段とELVを設けるなど町民の利便性を高めます。
- ・北側に職員専用出入口を配置し、管理エリアを明快に区分します。
- ・公用車車庫や書庫を庁舎と一体化し、コスト低減を図ります。

- 高低差を活かし車庫を一体化
- イベント利用の物品を収納
- メンテナンス性を考慮しB1Fに配置
- 高低差を活かし書庫・倉庫を一体化
- バリアフリー対応



- 役場庁舎(保健センター含む)
- にぎわいのある空間
- 商工会
- 附帯施設等



B1F 床面積:1,022㎡

□全ての町民に開かれた1F

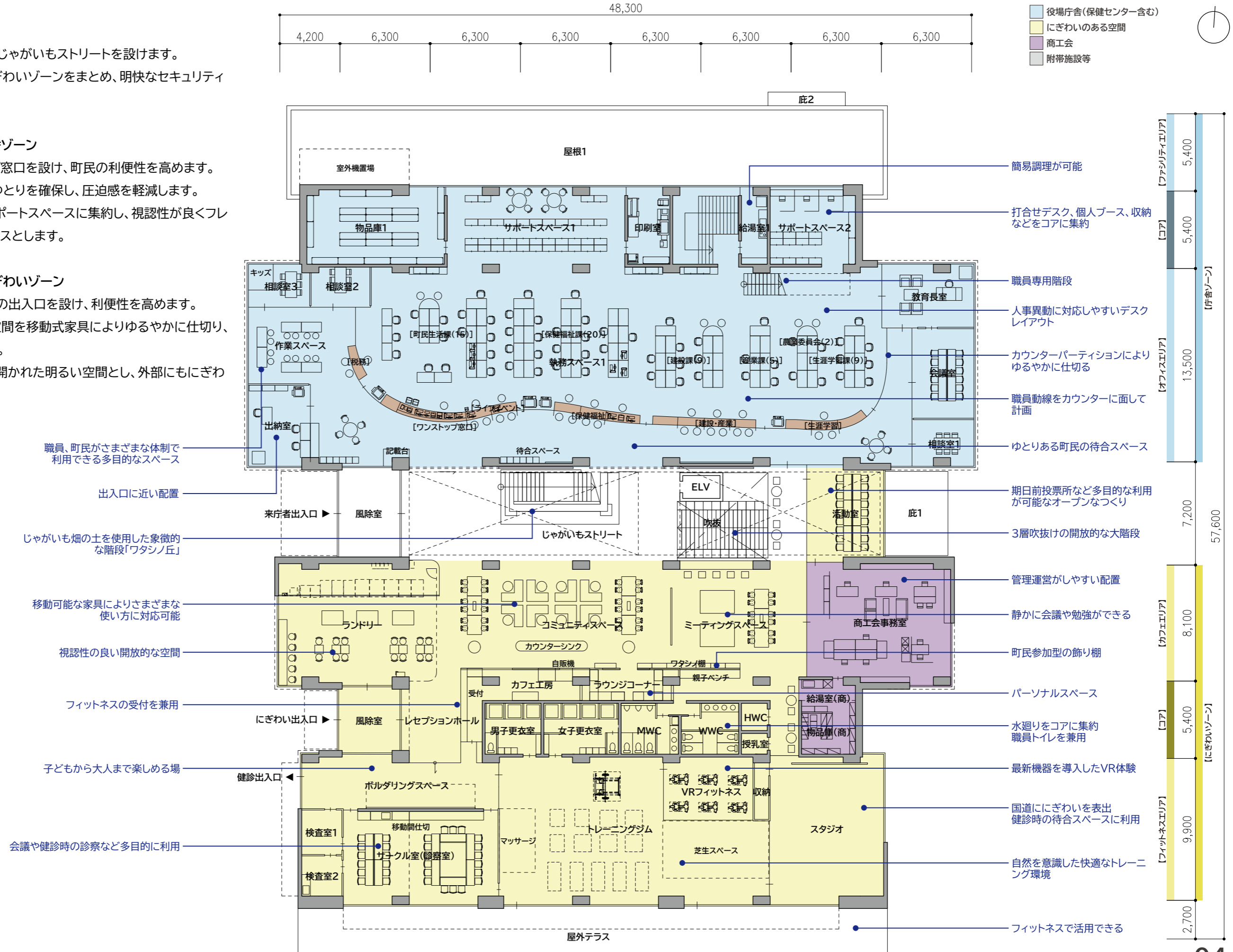
- ・建物中央に光溢れる開放的なじゃがいもストリートを設けます。
- ・北側に庁舎ゾーン、南側ににぎわいゾーンをまとめ、明快なセキュリティラインを確保します。

□町民サービスに特化した庁舎ゾーン

- ・出入口に近接してワンストップ窓口を設け、町民の利便性を高めます。
- ・曲面カウンターにより動線にゆとりを確保し、圧迫感を軽減します。
- ・収納や打合せデスクなどをサポートスペースに集約し、視認性が良くフレキシブルで開放的な執務スペースとします。

□あらゆる日常が展開するにぎわいゾーン

- ・来庁者用駐車場に面して専用の出入口を設け、利便性を高めます。
- ・カフェエリアでは大きな一体空間を移動式家具によりゆるやかに仕切り、さまざまな居場所をつくります。
- ・フィットネスエリアでは三方に開かれた明るい空間とし、外部にもにぎわいを表出します。



職員、町民がさまざまな体制で利用できる多目的なスペース

出入口に近い配置

じゃがいも畑の土を使用した象徴的な階段「ワタシノ丘」

移動可能な家具によりさまざまな使い方に対応可能

視認性の良い開放的な空間

フィットネスの受付を兼用

子どもから大人まで楽しめる場

会議や健診時の診察など多目的に利用

- 役場庁舎(保健センター含む)
- にぎわいのある空間
- 商工会
- 附帯施設等

- 簡易調理が可能
- 打合せデスク、個人ブース、収納などをコアに集約
- 職員専用階段
- 人事異動に対応しやすいデスクレイアウト
- カウンターパーティションによりゆるやかに仕切る
- 職員動線をカウンターに面して計画
- ゆとりある町民の待合スペース
- 期日前投票所など多目的な利用が可能なオープンなつくり
- 3層吹抜けの開放的な大階段
- 管理運営がしやすい配置
- 静かに会議や勉強ができる
- 町民参加型の飾り棚
- パーソナルスペース
- 水廻りをコアに集約職員トイレを兼用
- 最新機器を導入したVR体験
- 国道ににぎわいを表出健診時の待合スペースに利用
- 自然を意識した快適なトレーニング環境
- フィットネスで活用できる

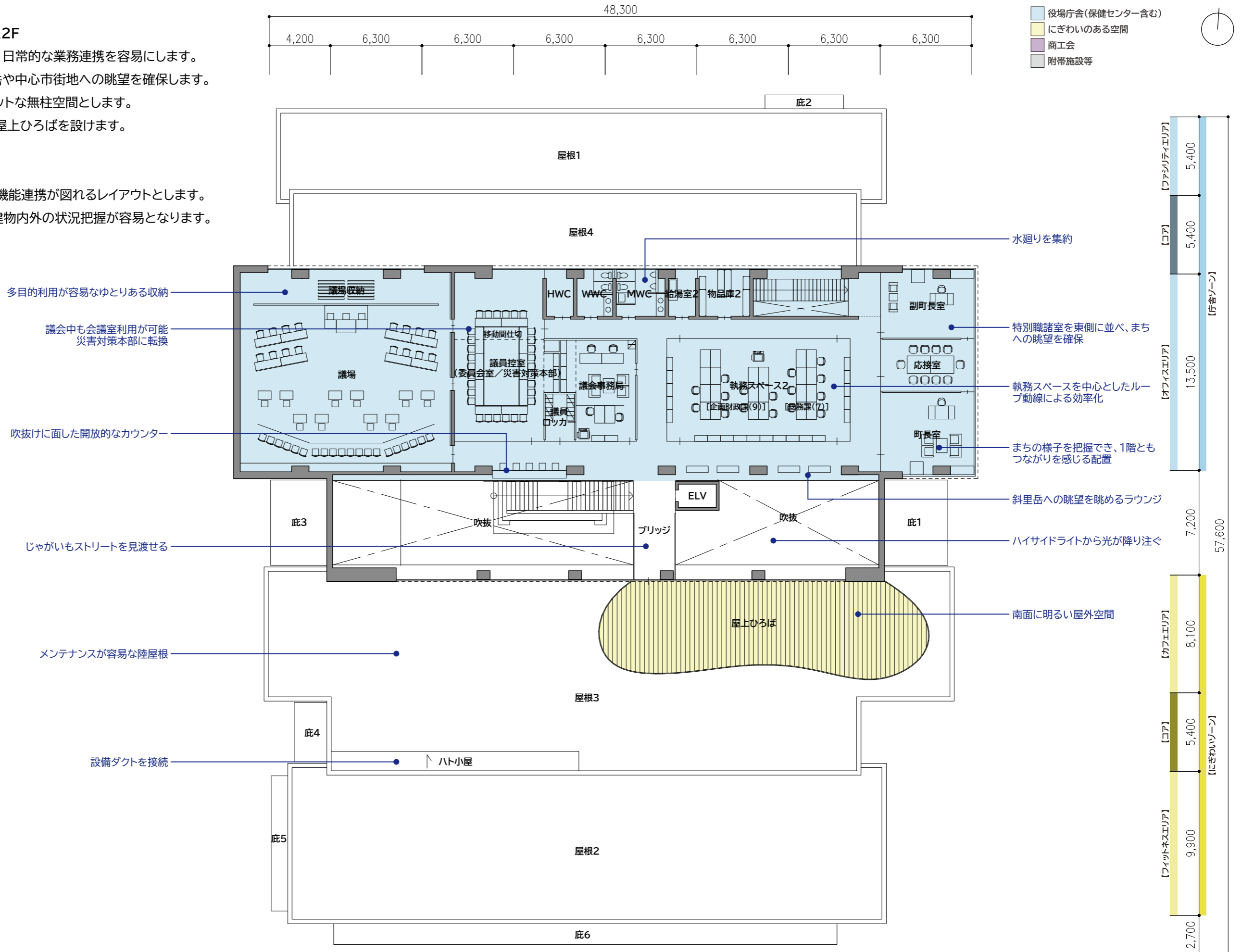
1F 床面積:2,191㎡  
延床面積:3,980㎡

□執行部門と議会機能をまとめた2F

- ・特別職諸室と関連課を隣接させ、日常的な業務連携を容易にします。
- ・南面に大きな開口を設け、斜里岳や中心市街地への眺望を確保します。
- ・議場は多目的利用が可能なフラットな無柱空間とします。
- ・小清水の魅力を伝える開放的な屋上ひろばを設けます。

□災害対策指揮フロア

- ・災害対策本部室を中心に迅速な機能連携が図れるレイアウトとします。
- ・ハイサイドライトや吹抜けにより建物内外の状況把握が容易となります。



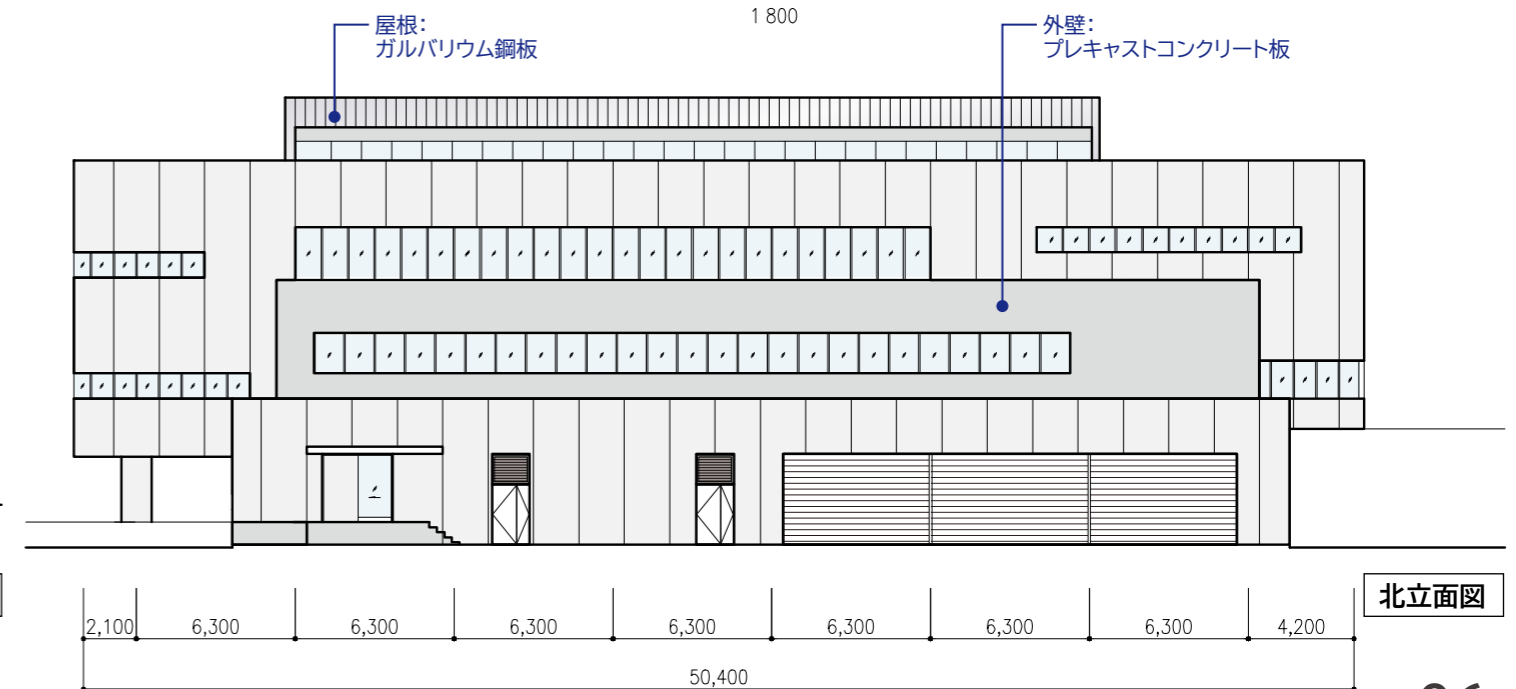
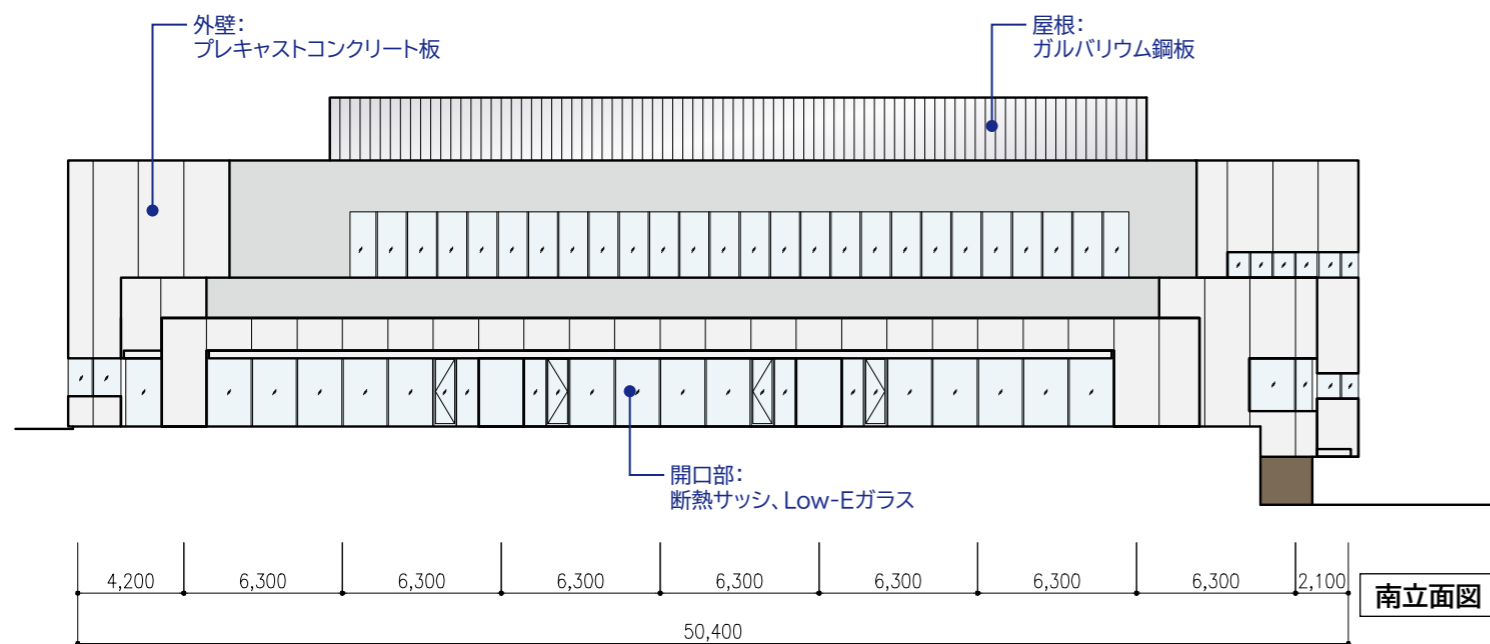
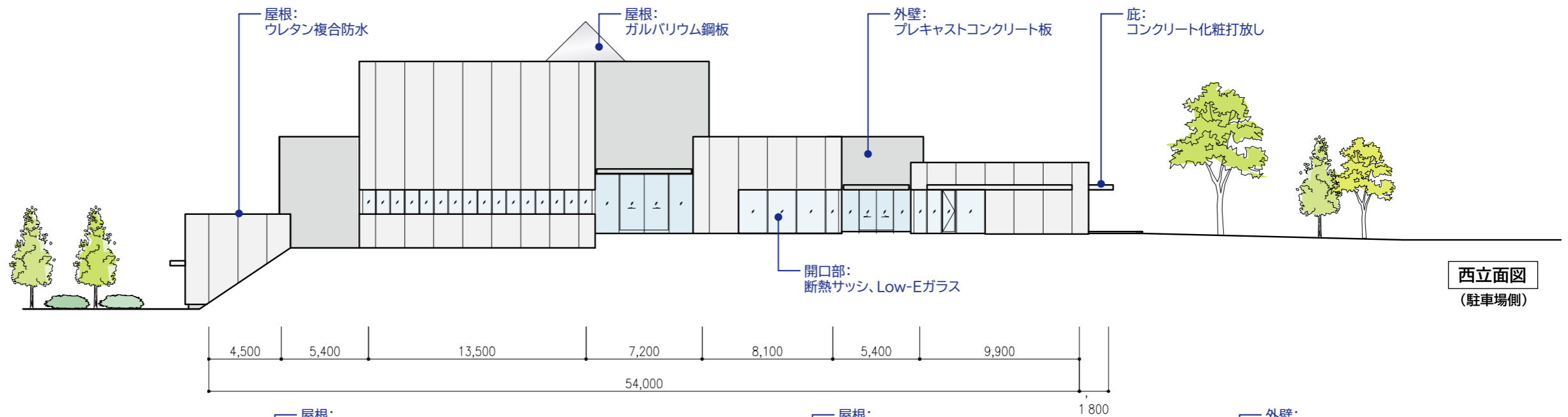
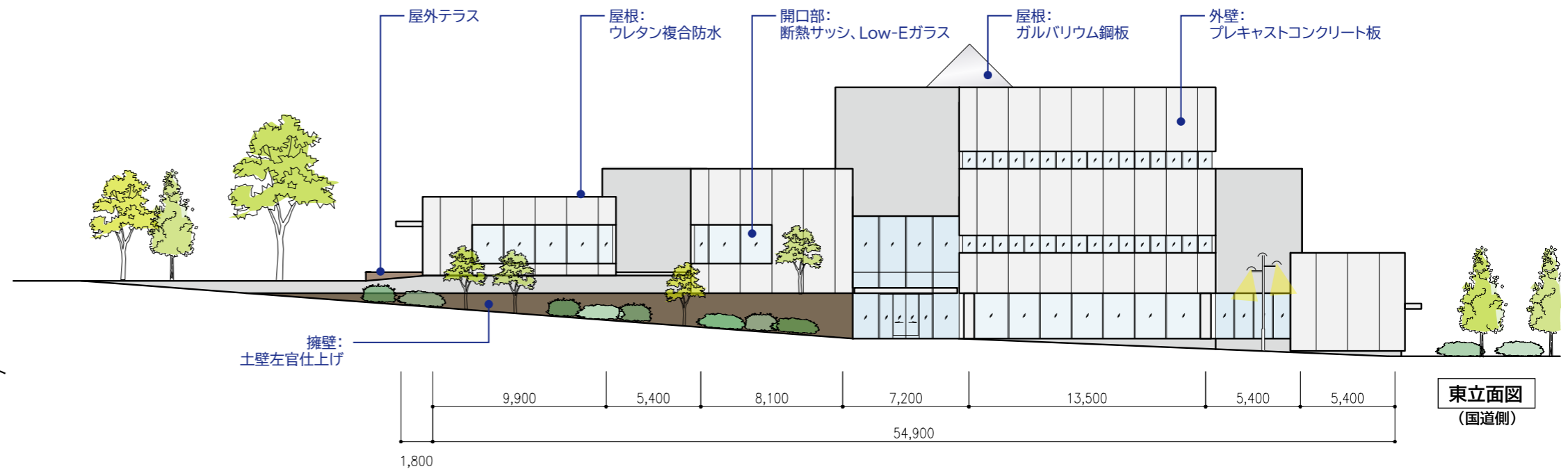
2F 床面積:767㎡

□まちなみに調和する外観デザイン

- ・機能ごとにボリュームを分節することで圧迫感を軽減し、商店街から続く小さなスケールのまちなみと調和します。
- ・スリット状に設けた開口部から町内を一望できるだけでなく、内部の活動が国道にも表出します。
- ・新設する擁壁にはじゃがいも畑の土を使用した土壁左官仕上げを採用し、小清水らしい農風景を想起させます。
- ・オホーツクの気候に適した植栽によって建物周囲を彩ります。

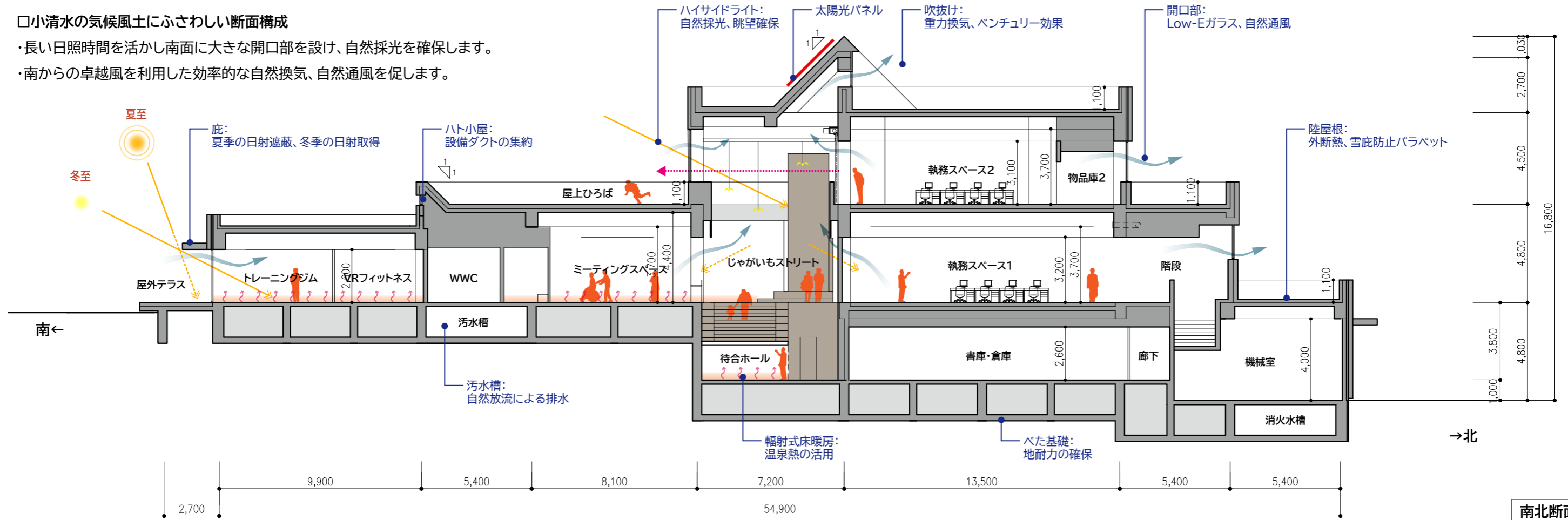
□防災拠点にふさわしい外装材の選定

- ・将来のメンテナンス性や厳しい気候条件を踏まえ、プレキャストコンクリート板等の堅牢な素材を選定します。



□小清水の気候風土にふさわしい断面構成

- ・長い日照時間を活かし南面に大きな開口部を設け、自然採光を確保します。
- ・南からの卓越風を利用した効率的な自然換気、自然通風を促します。



□フレキシブルでオープンな大空間

- ・リズムカルなPC梁の反復により無柱の大空間を実現します。
- ・躯体現しで見通しの良いインテリアとし、メンテナンスを容易にします。

